

海上の森の自然ノート

海上の森の動植物の
生き字引

山本 征弘

No. 4

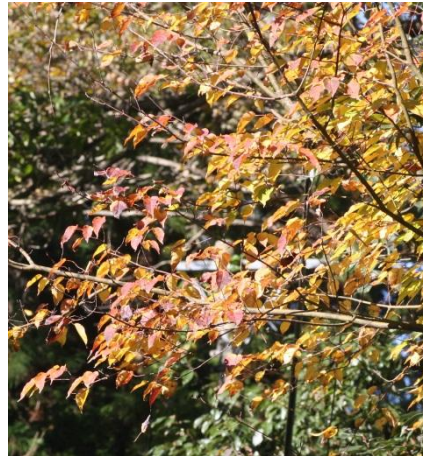


紅葉（黄葉）

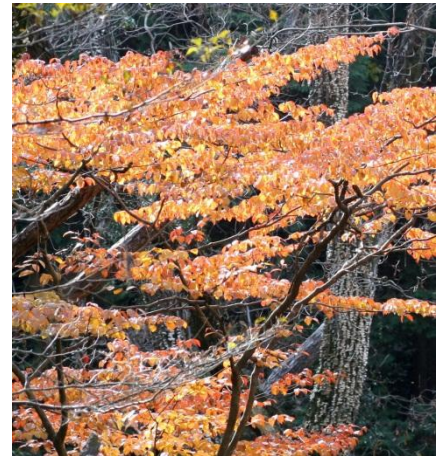
♪秋の夕日に照る山もみじ、濃いも薄いも数ある中に♪と歌にもあるもみじは日本人に慕われてきました。海上の森の見頃は11月下旬から12月中旬頃までです。代表的な木を紹介します。



1：ヤマハゼ



2：ウリカエデ



3：ヤマボウシ

- ① **ヤマハゼ（ウルシ科）** 高さ5～8mになる落葉小高木。サクラ類に次いで早く紅葉し、各所に点在しよく目立つ。ヤマウルシに比べ葉脈の数が多く実に毛がない。実は野鳥が好んで食べる。
- ② **ウリカエデ（カエデ科）** 高さ6～8mになる落葉小高木。海上の森で一番多いカエデ。日当たりの良いところでは赤くなるが黄色のままで散る葉も多く、種は竹トンボのように回りながら落ちる。
- ③ **ヤマボウシ（ミズキ科）** 高さ5～15mになる落葉小高木。木の数はあまり多くないが日当たりの良い場所では見事に紅葉する。春に白い花（総苞）が咲き、秋になる赤い実は甘くて美味しい。



4：タカノツメ



5：ダンコウバイ



6：カナクギノキ

- ④ **タカノツメ（ウコギ科）** 高さ10～15mになる落葉高木。海上の森で一番多い黄葉で森の至る所で見かける。落ちた葉が湿気を帯び醗酵すると香ばしい匂いがする。若葉は山菜として食べる。
- ⑤ **ダンコウバイ（クスノキ科）** 高さ2～6mになる落葉低木。物見山付近に多い。3つに裂けた大きな黄葉を逆光で見ると特に綺麗である。3月下旬に葉が展開する前に黄色い花を咲かせる。
- ⑥ **カナクギノキ（クスノキ科）** 高さ6～15mになる落葉高木。海上砂防池の畔に背の高い雌木が一本あり毎年実をつける。別の場所に雄株があるはずだが、まだ見つかっていない。亜高山に多い。